

業務用価格で1点から

企業間仕入れサイト

ラクーンコマース（東京都中央区）は、運営する卸・仕入れサイト「スーパー・デリバリー」の介護事業者向け提案を強化する。まずは一般社団法人日本介護協会と連携し、介護甲子園や情報誌などをサービスを周知させていく。



▲82万点の商品を扱う

スーパー・デリバリーは商品出展企業約1300社、購入側の小売店など約11万の会員を有する企業間の仕入れサイト。2008年にスタートし、昨年4月期の流通額は105億円に達した。16年までは小売業のみを利用対象としてき

たが、同年7月より小売業以外も利用可能となり。以来、飲食業や美容室などのサロン、リフォーム・不動産などの会員が増加。近年は介護事業者の会員も増えている。

同サイトの利用メリットは、商品を1点から定価の平均5~6割引の業務用価格で購入できるということ。サ

イトには約1300社・約82万点の商品が掲載されているが複数社から購入しても決済はまとめて一本化できる。その上、初回から掛け払い（後払い）が可能だ。

介護系商品・備品については、リハビリ、レクリエーション、食品、口腔ケア・衛生用品、衣類、食器などを用意。順次拡充していく。また、元々小売業向けにサービスを展開していたため、幅広い

カタログの商品を揃える。雑貨・インテリア・家具なども低価格、1点から購入できることから、施設の共用部・居室などでの使用も想定される。

サイト利用には経営実態があるかなど事前審査が必要。

海外の販路開拓

メーカーも注目

サイト会員11万の内、約4万がアジアを中心とした海外の小売業者。流通額の10%程度が海外だという。

サイト経由で商品が売れた場合、出展企業はラクーンコマースの国内提携物流倉庫に商品を発送するだけ。輸出に関する手続き、決済などは必要ない。サイトは多言語に自動翻訳されており、海外向けに販路を開拓したいメーカーなどからの問い合わせも多いという。